

# 国際シンポジウム INTERPRAEVENT2026 ～気候変動下における複合自然災害とリスク管理～



環太平洋インタープリイベント協議会  
環太平洋インタープリイベント2026実行委員会

近年、我が国のみならず世界的に地球温暖化の影響による集中豪雨や大型台風によって、地すべり、土石流、洪水やこれらが相まった土砂・洪水氾濫が発生し、未曾有の被害に見舞われている。また、地震や火山噴火によっても大規模かつ複合的な自然災害が頻発しており、人命や財産、生活や経済産業の基盤に対する脅威となっている。

今後も、気候変動や地震、火山噴火に伴う複合自然災害に対するリスクと隣り合わせで暮らす人びとは、これらに適応し共存していく必要があり、これまで培われた技術や経験、教訓を共有するとともに、今後の防災・減災に関する研究及び考察を深め、適切な対応策を積極的に世界へ発信していくことが極めて重要である。

このため、「気候変動下における複合自然災害とリスク管理」をテーマに、世界の技術者、研究者、行政関係者が北海道に集う「環太平洋INTERPRAEVENT2026」を開催する。

- 期 日：令和8年(2026年)10月20日(火) ～ 10月23日(金)
- 開 催 地：北海道札幌市(会場:札幌コンベンションセンター 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
- 主 催 環太平洋インタープリイベント協議会、環太平洋インタープリイベント2026実行委員会
- 共 催：International Research Society INTERPRAEVENT  
公益社団法人砂防学会、一般社団法人国際砂防協会
- 協 賛：(一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、  
(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(一社)斜面防災対策技術協会



有珠山と洞爺湖温泉街を守る砂防施設



白金温泉と砂防施設(美瑛川)



地震後の土砂災害対策施設(日高幌内川)



十勝岳とヌッカクシ富良野川上流の砂防堰堤

## テーマ 気候変動下における複合自然災害とリスク管理

日程	令和8(2026)	主なイベント	夜
	10月20日(火)	受付、開会式、基調講演	意見交換会
	10月21日(水)	口頭・ポスターセッション,コアタイム	
	10月22日(木)	口頭・ポスターセッション,コアタイム 閉会式	
	10月23日(金)	現地視察研修	

※意見交換会は、ホテルライフオーツ札幌にて行います。

## ◆参加費用

登録日	一般	学生(30歳未満)
令和8(2026)年4月1日～7月31日まで	50,000 円	10,000 円
令和8(2026)年8月1日～9月15日まで	60,000 円	12,000 円
令和8(2026)年9月16日以降	70,000 円	14,000 円
意見交換会(歓迎会)参加費	10,000円	
昼食弁当代(10月21,22日)	1,500 円/日	
現地視察研修会費	(3rdサーキュラーにて案内予定です)	

※費用については今後変更の可能性があります。

※参加費には宿泊費は含まれていません。

参加申し込み :参加事前登録用ウェブサイトは令和8(2026)年4月に開設予定です。

言語 :使用する言語は英語です。

基調講演 :数カ国から選ばれた講師に、各国の近年における災害の特徴及び災害対策、防災研究の方向性などについて、講演をいただきます。

◆トピックス :これらのセッションでは、地震、火山噴火、洪水、土石流、地すべり、雪崩などの複合自然災害を対象とし、以下の6つのトピックに大別します。  
( )内は、トピックに関連するキーワードです。トピック選択の参考にしてください。

トピック1:土砂移動モニタリング、モデリング、シミュレーション

(斜面崩壊・地すべり、土石流、流砂系、水文、数値解析、リモートセンシング)

トピック2:大規模災害:現象と対策

(深層崩壊、泥流、洪水、火山砂防、山火事後の土石流、地震、氷河湖決壊洪水)

トピック3:ハード対策:計画・設計・施工・維持管理、地域活性化、自然環境

(山腹工、流路工、砂防堰堤、遊砂地、保安林、住民参加森づくり、施設マネジメント)

トピック4:ソフト対策:警戒避難、ハザードマッピングと土地利用計画

(河川情報システム、住民参加、避難訓練、教育、保険)

トピック5:応急対応、復旧

(ドローン調査、緊急排砂・排水、仮設工事、無人化施工、復興計画立案)

トピック6:国土強靱化:複合自然災害リスク管理のための政策、戦略

(国家レベルの政策・戦略、地方自治体の取組、総合リスク評価、防災減災投資、官民連携による防災計画、流域治水)

- 現地視察研修 : 2000年の有珠山噴火や2018年の北海道胆振東部地震に伴う斜面崩壊、大規模な河道閉塞といった被災事例およびそれらの対策を視察するほか、同伴者も楽しめる美瑛の青い池や札幌市内の名所などの見学も含め、北海道の豊かな自然や歴史・文化を体感する研修を実施します。5コース程度を計画予定です。
- 行政展示 : 防災関係機関による行政展示コーナーを会場内に設けます。
- 企業展示 : 防災関係企業による企業展示コーナーを会場内に設けます。
- その他 : 本シンポジウムはCPD単位の取得対象を予定しています。

#### ◆口頭発表・ポスター発表の投稿について:

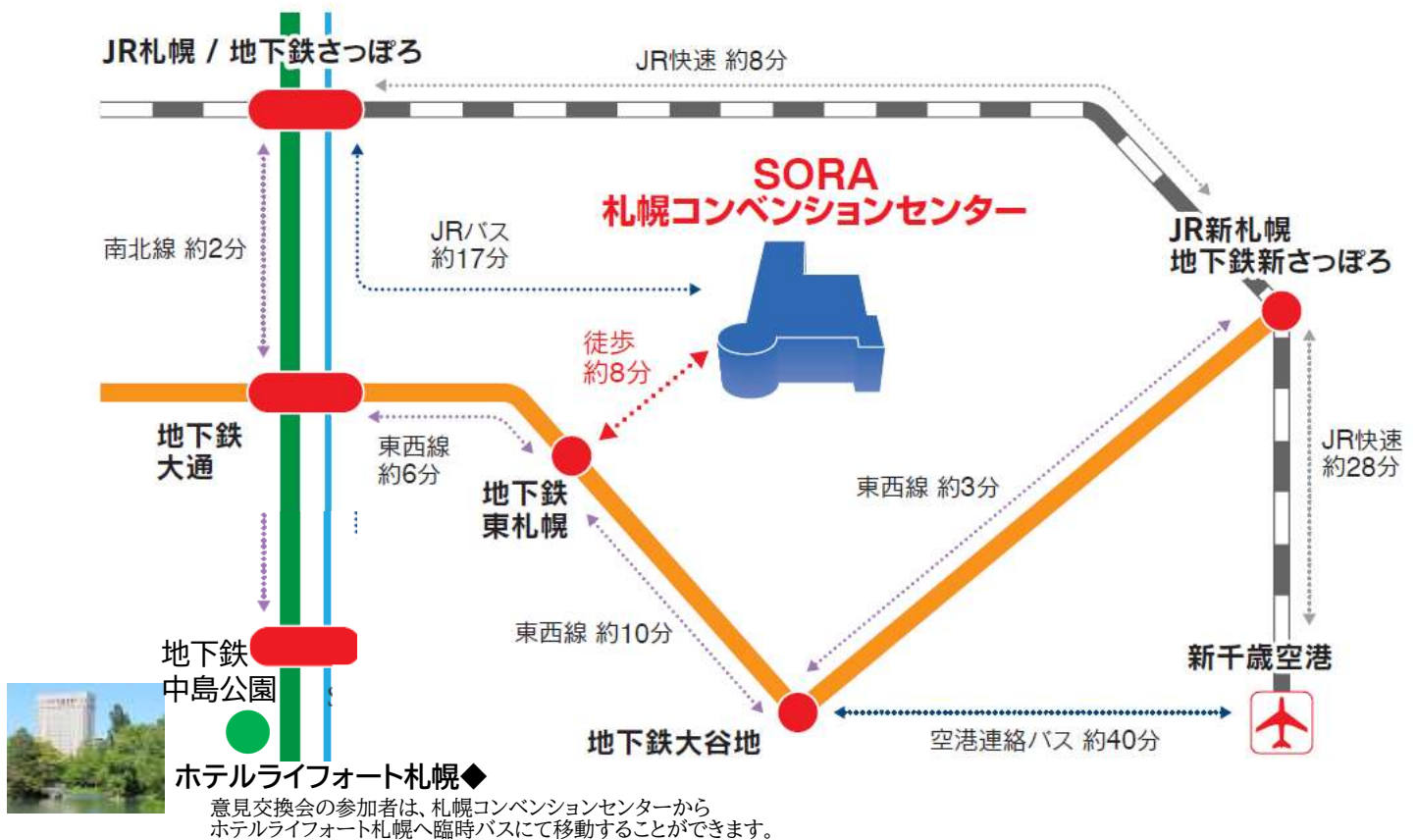
- Full Paper(以下、「FP」)又は、Extended Abstract(以下、「EA」)の投稿は、論文投稿システム(Editorial Manager)を通じて、実施して頂きます。URL: <https://www.editorialmanager.com/jsece-ip/> FP又はEAを投稿する際、希望する発表形式(口頭発表、ポスター発表)を確認させていただきます。但し、編集小委員会の選定により、ご希望どおりにならない場合もございます。
- 口頭発表を希望する方は、FPを2025年9月30日までに論文投稿システムより提出することが必須です。また、その後の査読により受理され、編集小委員会から選定されると、2026年5月31日までに参加費を支払うことが必要となります。なお、口頭発表に選定されなかった方には、ポスター発表を依頼させていただきます。
- ポスター発表を希望する方は、EAを2025年11月30日までに論文投稿システムより提出することが必須です。その後の査読により受理され、編集小委員会から選定されると、2026年5月31日までに参加費を支払うことが必要となります。ポスター発表を希望する方もFPを提出することは可能です。なお、会場に掲示するポスター原稿は、事前に提出する必要ありません。具体の掲示方法等は、ポスター発表の決定に伴い、ご案内させていただきます。
- FPは、Interpraevent2026のホームページに掲載した投稿規程(guideline\_FP\_IP2026)及び、様式(format\_FP\_IP2026)に基づき、A4サイズ図表・写真込、5～8ページで作成するとともに、2ページ以内の要旨を作成(様式(format\_EA\_IP2026)を使用)し、投稿して頂きます。
- 査読後受理され、参加費を支払った方のFPは、砂防学会の国際誌である「International Journal of Erosion Control Engineering」の特集号として、デジタル的に掲載されます。また、同FPの要旨・Abstractは、Interpraevent2026Web抄録サイトに掲載されるとともに、大会終了後、Interpraevent本部のホームページに正式なプロシーディングとして掲載されます。
- EAは、Interpraevent2026のホームページに掲載した投稿規程(guideline\_EA\_IP2026)及び、様式(format\_EA\_IP2026)に基づき、A4サイズ図表・写真込、2～5ページで作成・投稿してください。査読後受理され、参加費を支払った方のEAは、Interpraevent2026Web抄録サイトに掲載されるとともに、大会終了後、Interpraevent本部のホームページに正式なプロシーディングとして掲載されます。
- 2026年9月開設予定のInterpraevent2026Web抄録サイトは、参加費を支払った方が閲覧することができます。但し、当該サイトは、大会終了後、一定期間が過ぎると閉じられますので、長期間閲覧することはできません。
- 若手研究者を対象とした表彰制度については、3rdサーキュラーにてご案内する予定です。

#### ◆今後の予定

FP,EAの投稿開始	令和7(2025)年4月1日
3rdサーキュラーの発行	令和7(2025)年9月
FPの投稿締切	令和7(2025)年9月30日
EAの投稿締切	令和7(2025)年11月30日
FP,EAの受理・不受理の通知	令和8(2026)年2月15日
参加事前登録の開始	令和8(2026)年4月
発表者の参加事前登録(事前割引)締切	令和8(2026)年5月31日
口頭及びポスター発表の採択の決定通知	令和8(2026)年7月
ファイナルサーキュラーの発行	令和8(2026)年9月

## 会場へのアクセス

- 東京国際空港(羽田)⇨新千歳空港(約1時間30分)
- 成田国際空港(成田)⇨新千歳空港(約1時間45分)
- 関西国際空港(関西)⇨新千歳空港(約2時間)
- 中部国際空港(名古屋)⇨新千歳空港(約1時間35分)
- 新千歳空港⇨札幌コンベンションセンター



札幌コンベンションセンターの位置を示すGoogleマップ

# 環太平洋インタープリバント2026実行委員会組織

## 実行委員会 (敬称略、五十音順)

名誉顧問	鈴木 直道	北海道知事
顧問	石川 芳治	東京農工大学名誉教授
顧問	丸井 英明	新潟大学名誉教授、インタープリバント名誉会員
実行委員長	山田 孝	北海道大学名誉教授、(公社)砂防学会会長
副実行委員長	大野 宏之	(一社)全国治水砂防協会理事長、インタープリバント副会長
委員	内田 太郎	筑波大学教授、インタープリバント科学技術委員会委員
同	笠井 美青	北海道大学教授
同	亀江 幸二	(一財)砂防フロンティア整備推進機構研究所長
同	空閑 健	北海道開発局建設部河川計画課長
同	國友 優	国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課長
同	栗原 淳一	(一財)砂防・地すべり技術センター理事長
同	権田 豊	新潟大学教授
同	五味 高志	名古屋大学教授、(公社)砂防学会理事・国際部会長
同	田村 毅	国土交通省国土技術政策総合研究所土砂災害研究部長
同	瀧川 雅晴	北海道建設部土木局長
同	堤 大三	信州大学教授、(公社)砂防学会理事・編集部会長
同	水野 正樹	(国研)土木研究所土砂管理研究グループ長
同	南 哲行	(一社)斜面防災対策技術協会副会長
監事	後藤 宏二	(一社)建設コンサルタンツ協会技術部会国土基盤技術委員会 砂防・急傾斜専門委員会委員長
監事	松尾 新二郎	(公社)砂防学会理事・経理部会長

## 編集小委員会 (敬称略、五十音順) ※編集小委員長が指名する幹事会委員

委員長	五味 高志	名古屋大学	委員	篠原 慶規	宮崎大学
委員	荒田 洋平	(地独)北海道立総合研究機構	同	白木 克繁	東京農工大学
同	池田 誠	八千代エンジニアリング(株)	同	田中 健貴	国土技術政策総合研究所
同	石井 靖雄	(一財)砂防・地すべり技術センター	同	堤 大三	信州大学
同	今泉 文寿	静岡大学	同	中谷 加奈	京都大学防災研究所
同	内田 太郎	筑波大学	同	堀田 紀文	東京大学
同	岡本 隆	(国研)森林総合研究所	同	松岡 暁	日本工営(株)
同	小山内 信智	(一財)砂防・地すべり技術センター	同	松原 智生	(株)建設技術研究所
同	影山 大輔	(国研)土木研究所	同	松本 一穂	岩手大学
同	笠井 美青	北海道大学	同	宮田 秀介※	京都大学
同	笠原 玉青	九州大学	同	山野井 一輝	鳥取大学
同	金澤 瑛※	国土技術政策総合研究所	同	若原 妙子※	(公社)砂防学会
同	神山 嬢子	(国研)土木研究所	同	和田 孝志	京都大学防災研究所
同	木村 誇	愛媛大学	同	Rozaqqa Noviandi	ガジャマダ大学、インドネシア
同	ゴメス クリストファー	神戸大学	同	Song-Yue Yang	逢甲大学、台湾
同	権田 豊	新潟大学	同	Im, Sangjun	ソウル国立大学、韓国
同	佐藤 貴紀	東京農業大学			

## ◆運営小委員会 (敬称略、五十音順) ※運営小委員長が指名する幹事会委員

委員長	瀧川 雅晴	北海道建設部土木局	委員	千葉 新次	(一社)北海道地質調査業協会
委員	阿部島啓人	北海道砂防ボランティア協会	同	峰 隆典	国交省北海道開発局札幌開発建設部
同	越智 英人※	国土交通省砂防部砂防計画課	同	宮坂尚市朗	(一社)全国治水砂防協会北海道支部
同	小野由紀光※	(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部	同	矢部 浩規	(国研)寒地土木研究所
同	神山 繁	国交省北海道開発局旭川開発建設部	同	山田 孝	(公社)砂防学会 北海道支部
同	空閑 健 ※	国交省北海道開発局河川計画課	同	吉村 俊彦	国交省北海道開発局室蘭開発建設部
同	今日出人	(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部	同	渡辺 亮	(一社)北海道測量設計業協会
同	齊藤 寛朗 ※	北海道建設部土木局河川砂防課			

※令和7(2025)年3月28日時点  
 ※記載内容は予告なく変更する場合があります

環太平洋インタープリバント2026実行委員会事務局  
 住所: 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4(一社)国際砂防協会内  
 電話: 03-6380-9044 FAX: 03-3261-0747  
 E-mail: interpraevent2026@kokusaisabo.or.jp  
 URL: <http://www.kokusaisabo.or.jp/interpraevent2026/index.htm>



# 国際シンポジウム INTERPRAEVENT2026

in Sapporo, Hokkaido

～気候変動下における複合自然災害とリスク管理～

## 日 程

- 10月20日(火) 開会式、基調講演、  
ウェルカムレセプション
- 10月21日(水) 口頭発表、ポスターセッション
- 10月22日(木) 口頭発表、ポスターセッション、閉会式
- 10月23日(金) 現地視察研修

期 日

令和8年(2026年)10月20日(火)～10月23日(金)

開催地

北海道 札幌市 (会場:札幌コンベンションセンター)

主 催 環太平洋インタープリバント協議会、  
環太平洋インタープリバント2026実行委員会

共 催 International Research Society INTERPRAEVENT  
公益社団法人砂防学会、一般社団法人国際砂防協会

協 賛 (一社)全国治水砂防協会、(一財)砂防・地すべり技術センター、  
(一財)砂防フロンティア整備推進機構、(一社)斜面防災対策技術協会

